

全国保健所長会 だよりの

リアル会場×オンラインのハイブリッドから完全オンライン開催へ

「公衆衛生 若手医師・医学生サマーセミナー(以下、PHSSという)2021」を令和3年8月21日(土)・22日(日)に開催しました。PHSSは地域保健総合推進事業(全国保健所長会協力事業)「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業」班が平成24年度から開催しているセミナーで、今年度で10回目となります。

昨年度はコロナ禍のため、1日のみオンラインで講義をして質疑応答する形式で開催しました。遠隔地からも参加が容易で、参加者たちの公衆衛生医師への理解を促進して関心を深めることはできた一方で、参加者とスタッフ、あるいは参加者同士の交流を活性化するのは難しく、リアル会場で行うことの良さが再認識され

公衆衛生 若手医師・医学生 サマーセミナー(PHSS) 2021 報告

PHSS2021 運営委員長／香川県小豆保健所所長 横山 勝教

ました。

そこで、今年度はリアル会場とオンライン形式のハイブリッド開催で一昨年度まで実施していた2日間のセミナーを計画しました。ハイブリッド開催をするに当たっては「会場参加者は一体感や交流が得られるけれども、オンライン参加者は一方的に配信情報を受け取るだけ」というイベントにするのではなく、「リアル会場の参加者もオンラインの参加者も等しく参加して一体感を生み出したり個人々人の交流をつくり出したりできる」イベントを目指しました。会場の講演スライドが映されるスクリーンとは別のスクリーンにオンライン参加者の顔(Webカメラの映像が表示されるようにするとともに、グループワークでアイスブレイクやディスカッションをしながら交流を深めつつ、各グループからの発表をリアル会場とオンラインの参加者全員で共有して一体感を生むことを繰り返すプログラムにしました

(表)。

プログラムをリアル会場とオンラインのすべての参加者やスタッフにとってインタラクティブなものに設計すれば、感染状況の悪化によって完全オンライン開催へ変更を余儀なくされても、充実したセミナーにできるのではないかと考えていました。

そうして迎えた第5波。とうとう8月2日からリアル会場のある大阪府に緊急事態宣言が出されることが決まったのを受けて、事業班の中でサマーセミナーの開催方法について協議しました。その結果、

①リアル会場には参加者だけでなく事務局、業者も含めて都道府県境をまたぐ人の移動が伴い、仮にワクチン接種済みの人が多くても、感染拡大に影響する可能性があること

②感染の拡大に伴って、運営スタッフの保健所長等の協力が当日困難になることが予想されるため、リアル

会場とオンラインとの両方に必要な人数を確保することが難しいと考えられること

③「全国保健所長会がリアル会場のイベントをやる」ことが他のイベント開催の主催者たちにとって、中止を選択しない理由になり得る。逆に、中止を選択すれば、それを知った他のイベント主催者が中止を選択する可能性が高まること

この3つの理由から、リアル会場の開催を断念し、完全にオンラインのみの開催に変更することとしました。

初のゲスト講師とゲスト ファシリテーター、OBの 講師をプログラムのメインに

2日間の講演プログラムを組むに当たって、時間的に長い講演やその人にしかできない内容の講演を保健所長に依頼すると、コロナ対応でどうしても講演ができない状況となった場合にセミナー自体が暗礁に乗り上げてしまう恐れがあったため、保健所長の班員が担当する講演は比較的短時間で、万が一の場合には代わりのスタッフが説明できる内容とするように考えました。

そしてコロナ対応等で急ぎよ当日に欠ける心配が少ない講師をプログラムのメインに据えました。1日目は、リアル会場の大阪で教鞭を執られてイベントに近づけることができたように思います。

公衆衛生医師に興味を抱く医学生と臨床医は潜在的にいますが、実際の仕事について生の声を聞いて具体的なキャリアとして考えるきっかけは他の診療科と比べるとまだまだ少ないのが現状です。PHSSはそうした機会の一つですが、ここで興味を深めた参加者が継続して興味を持ち、将来、われわれの仲間となっていくには、全国保健所長会内外の公衆衛生医師の皆さまの彼ら彼女らへの長期的なフォローが欠かせません。

最後に、PHSSの運営にご協力いただいた皆さまだけでなく、セミナーの周知やその後のフォローにご協力いただいている全国の公衆衛生医師の皆さまに深くお礼申し上げます。

る行動経済学者の大竹文雄先生をゲスト講師に迎え、グループワークにはNPO法人PolicyGarageからファシリテーターを迎えました。2日目は全国保健所長会のOBで地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センターシニアアドバイザーの宇田英典先生に講演していただきました。

交流を大切に、全国の公衆衛生医師を増やし育てるきっかけに

今年度は70名の参加申し込みがありました。臨床医や公衆衛生医師の中にはコロナの業務のためキャンセルせざるを得ない参加者もいたた

表 サマーセミナー2021プログラム

プログラム1日目	日時: 令和3年8月21日(土) 13:30-17:30	全体進行: 横山 勝教 先生(香川県小豆保健所 所長)
Contents		
13:30-13:35 (5min.)	オープニング	日本公衆衛生協会 松谷 有希雄 理事長
13:35-13:40 (5min.)	主催者挨拶	全国保健所長会 内田 勝彦 会長
13:40-14:05 (25min.)	講義①	講師: 永井 仁美 先生(大阪府茨木保健所 所長)「公衆衛生医師のキャリアパス」
14:05-14:25 (20min.)	アイスブレイク&グループワーク	自己紹介「公衆衛生医師のキャリアパス」に関する意見交換
14:25-14:30 (5min.)	発表	意見交換で話された内容発表
14:30-14:50 (20min.)	講義②	講師: 宮園 将哉 先生(大阪府健康医療部保健医療室 副理事)「社会医学系専門医制度」
14:50-15:05 (15min.)	グループワーク	「社会医学系専門医制度」に関する意見交換
15:05-15:15 (10min.)	発表	意見交換で話された内容発表
15分間の休憩(トイレ休憩・雑談・質疑応答)		
15:30-16:30 (60min.)	講義③	講師: 大竹 文雄 先生(大阪大学 感染症総合教育研究拠点)「ナッジ: 公衆衛生医師に求められる行動経済学的視点」
16:30-17:00 (30min.)	グループワーク&ディスカッション	意見交換と発表 協力: NPO法人 PolicyGarage
17:00-17:10 (10min.)	告知	西田 敏秀 先生(宮崎県高鍋保健所 所長) 公衆衛生医師合同説明会(9/4)
17:10-17:30 (20min.)	まとめ アンケート回答	武智 浩之 先生(群馬県利根沼田保健所(兼)吾妻保健所 所長)

プログラム2日目	日時: 令和3年8月22日(日) 9:30-12:30	全体進行: 横山 勝教 先生(香川県小豆保健所 所長)
Contents		
9:30-9:40 (10min.)	アイスブレイク	自己紹介、今日の目標
9:40-10:20 (40min.)	講義①	講師: 藤田 利枝 先生(長崎県県央保健所 所長)「DHEAT: 災害時における公衆衛生医師の役割」
10:20-10:35 (15min.)	グループワーク	「DHEAT: 災害時における公衆衛生医師の役割」に関する意見交換
10:35-10:40 (5min.)	発表	意見交換で話された内容発表
10:40-11:20 (40min.)	講義②	講師: 宇田 英典 先生(地域医療振興協会 シニアアドバイザー)「公衆衛生のやりがいと医師としてのアイデンティティ」
11:20-11:35 (15min.)	グループワーク	「公衆衛生のやりがいと医師としてのアイデンティティ」に関する意見交換
11:35-11:45 (10min.)	発表	意見交換で話された内容発表
11:45-11:50 (5min.)	紹介	村松 司 先生(北海道倶知安保健所(兼)岩内保健所 所長)「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業」活動内容
11:50-12:30 (40min.)	ふりかえり シェアリングタイム アンケート回答	武智 浩之 先生(群馬県利根沼田保健所(兼)吾妻保健所 所長) Q&A、2日間の振り返り、記念撮影

図 サマーセミナー2021終了後の記念撮影

